



まつざき真琴

県議会ニュース

日本共産党

鹿児島県議会ニュース
2013年2月24日号

発行/日本共産党鹿児島県議団 〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1
★TEL/FAX 286-3977 E-mail kengidan@jcp-kagoshima.com HP <http://jcp-kagoshima.com>
★ブログ まこっちゃんのいっぺこっぺ奮闘記 <http://matsuzakimakoto.synapse-blog.jp/>

豊かな海で掃海訓練やめよ

海上自衛隊が、獅子島・桂島周辺海域で、機雷を除去する掃海訓練を初めて計画している問題で、まつざき真琴県議は水俣市議らとともに、15日、九州防衛局に訓練中止を申し入れました。



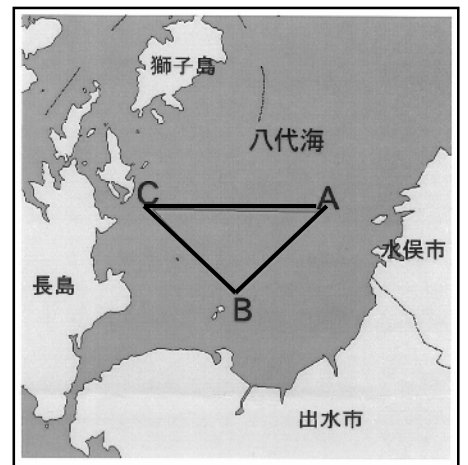
田村貴昭ブロック事務所長、永田義人始良・出水地区委員長も参加

昼夜を問わない訓練

自由な船舶の航行が妨げられる

訓練は、18日～23日に実施。鹿児島・米ノ津港や熊本・水俣港を拠点に約20平方キロの鹿児島県側海域（右図の▽の海域）に、横須賀や長崎・佐世保の掃海艦艇など17隻が参加します。海上自衛隊は、この海域を恒常的な訓練海域に加えることも検討しています。そもそも、この訓練は、日本近海の6カ所の海域で行われていましたが、この間、漁協との同意が得られない状況があり、新たな訓練海域を探していたものです。

訓練自体は右図の線内で行われ、この部分についてのみ漁協に漁業補償が支払われます。しかし、漁業補償を受けない漁協や遊漁船もこの海域に立ち入ることが制限されます。訓練は昼夜を問わず行われますが、過去に日向灘で行われた訓練では、機雷の流失事故等も起こっており、住民・漁民の生活と安全が脅かされることになってしまいます。



掃海訓練海域～ABCの線の枠内
(九州防衛局の資料より)



※申し入れ文書は、裏面をご覧ください。

掃海母艦「うらが」は米英海軍との掃海訓練に参加 アメリカの要請にもとづく訓練

今回、訓練を行う掃海母艦「うらが」は、2011年9月からペルシャ湾で行われた米英共催多国間掃海訓練に参加しました。掃海訓練自体が、日本を守るための訓練ではなく、アメリカの強い要請にもとづいたものです。

まつざき真琴県議は、「自然豊かな海、住民が暮らしを立てていく海を、戦争のための訓練の場として使用することは許されない。」と強く、訓練中止を求めました。

3月議会が始まります

2月27日（水）～3月28日（木）

3月6日（水）おおむね10：50より一般質問に立ちます。

詳しい質問内容は、後日県議会ニュースでお知らせします。

